

第75期



業務報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日



HIROSHIMA MIDORI SHINKIN BANK

広島みどり信用金庫

基本方針

1. 中小企業並びに国民大衆のための金融機関として産業経済の繁栄に貢献することを目的とする。
2. 役職員は和協一致目的達成に努力する。

経営方針（令和5年度）

1. 「コロナ禍」の影響を受けた経済活動や変化する社会構造に対応した経営と業務運営
2. 持続可能なビジネスモデルによる収益力強化
3. 「心理的安全性」を担保した「働きやすく、働きがいのある職場」づくり

金庫の概要

設立	昭和22年10月
本店	広島県庄原市西本町三丁目1番8号
店舗数	9店舗
会員数	8,039名 普通出資金 314百万円
常勤役職員	82名（令和5年3月末現在）

みどりしんきんのシンボルマーク

みどり（MIDORI）の頭文字Mを図案化したものです。鳥が羽ばたくイメージによって躍動感を、連なる山々のイメージによって融合感を表現し、未来への飛躍・発展する当金庫の姿を表しています。カラーは中国山地に萌える新緑を思わせるような明るいグリーン。地域とともに実り豊かに成熟していくことを意味しています。



ごあいさつ

会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当金庫第75期（令和4年度）業務概要につきましてご報告申し上げます。

令和4年度我が国経済は、年初に新型コロナウイルスの第6波の感染拡大を受け経済活動が制限されましたが、その後の第7波の感染拡大では、政府対応が「新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を志向するウイズコロナの段階」に移行したことにより、景気持ち直しの動きが見られております。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻などを契機として国際的に原材料価格が上昇する中、日米の金利差を背景とした急激な円安の進行が国内の企業物価上昇に拍車をかけているため、価格転嫁が困難な中小零細企業の業績が漸次悪化の様相を呈しています。また、世界に目を向ければ、欧米では各国・地域の中央銀行が急激なインフレを抑制するため、金融引き締め動きを強めているほか、中国ではコロナ政策への国民感情や不動産市場の低迷が中国経済の下押し圧力となる懸念されており、各国の景気後退懸念が高まる中、こうした世界経済の動向が我が国の金融・経済に与えるリスクが懸念される状況となっております。

このように日本経済を取り巻く環境の不確実性が増している中、内外の経済情勢の激しい動きに取引先中小企業が翻弄されることがないよう、当金庫は新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた中小企業の方々に、その経営状況やライフステージに応じた適切な金融支援に取り組むとともに、ポストコロナにおけるビジネスモデルの再構築に向けた経営改善・事業再生・事業転換支援や、地域社会が抱えるさまざまな課題の解決に取り組んでまいりました。

その結果、預金の期末残高は前期より8億94百万円0.88%減少し1,005億3百万円に、貸出金は6億86百万円1.80%増加し387億43百万円となりました。損益状況はコア業務純益5億6百万円（対前年度比1億67百万円増）経常利益2億54百万円（対前年度比24百万円減）当期純利益1億15百万円（対前年度比1億7百万円減）と増収減益ではありましたが、金融機関の健全性、安全性を示す自己資本比率は17.80%となり国内基準で求められる4%を大きく上回っております。なお、普通出資金配当率は4%とさせていただきます。

これも偏に、会員各位をはじめ地域の皆様方の温かいご支援の賜物であり役職員一同深く感謝申し上げます。

今後とも健全経営に努め地域と共に歩み、このような厳しい環境下にあろうとも業務を展開し完遂することが社会的使命であると肝に銘じ、地域に溶け込んだ協同組織金融機関として地域経済の発展に貢献して参る所存でございますので変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

広島みどり信用金庫

理事長 小林 明宗

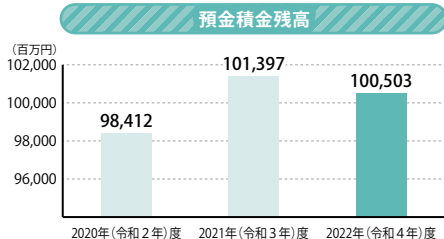


業績の概要

預金積金の残高

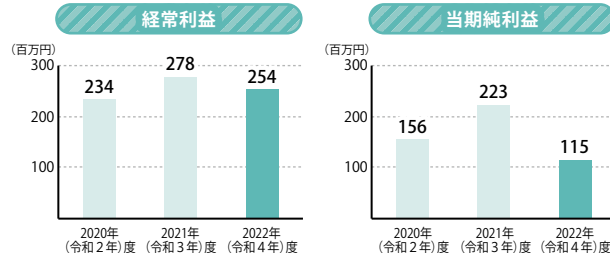
預金積金の残高は、対前年度比894百万円減少の100,503百万円(減少率0.88%)となりました。

地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向け努力してまいります。



経常利益／当期純利益の状況

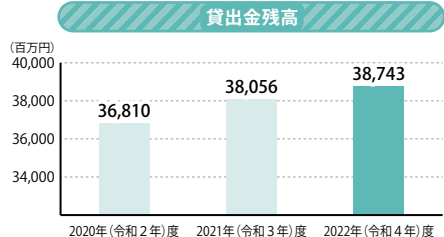
経常利益254百万円、当期純利益115百万円計上となりました。効率的な資金運用と経費の節減に努めると共に適正な引当等を行い、安定した収益を確保しております。



貸出金の残高

貸出金の残高は、対前年度比686百万円増加の38,743百万円(増加率1.80%)となりました。

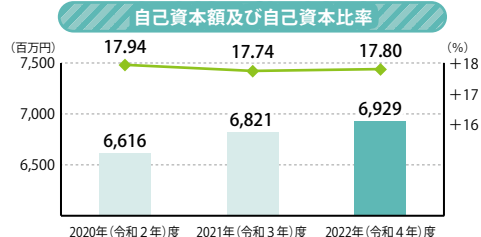
地域経済の維持と発展のため、お客様の様々な課題解決を図り、資金ニーズ等にお応えしてまいります。



自己資本の状況

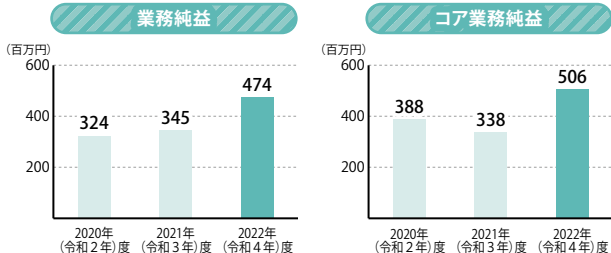
自己資本額6,929百万円となり、自己資本の内容は充実しております。

金融機関の健全性を示す自己資本比率は17.80%となり、国内基準4%を大きく上回りました。



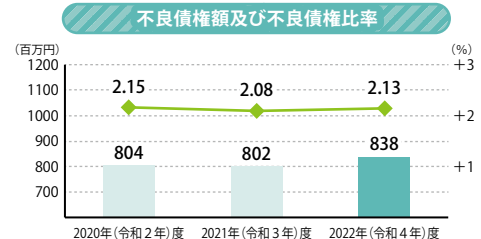
業務純益／コア業務純益の状況

損益の状況は、業務純益474百万円、金融機関の本来の業務から得られる収益力を示すコア業務純益506百万円となりました。



不良債権の状況

金融再生法上の不良債権額は838百万円となり、総与信に占める開示債権の不良債権比率は2.13%となりました。



コア業務純益とは
貸出金や有価証券等の受入利息や手数料等の収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費等を差し引いた「業務純益」より、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券の損益を控除したもので、金融機関本来の事業活動による利益を表しております。

TOPICS

▷令和4年9月1日(木)

広島県よろず支援拠点 オンラインサテライト室開設

よろず支援拠点を運営する公益財団法人ひろしま産業振興機構と令和4年8月30日に「連携・協力に関する覚書」の締結を行いました。

その取り組みの一環として、令和4年9月1日によろず支援拠点のオンラインサテライト室を「本店営業部」と「十日市支店」にそれぞれ開設いたしました。同室では中小企業診断士などの専門家が、販路拡大の方法や補助金活用方法などあらゆる経営上の相談にお応えしております。



◁令和4年9月30日(金)

「なみか・ほろか」チャージ機設置

本店営業部ロビー内に「なみか・ほろか」カード電子マネーチャージ専用機を令和4年9月30日に設置し、令和4年10月3日より運用開始いたしました。庄原市キャッシュレス事業を通じて、地域経済の活性化や住民サービス向上に取り組んでおります。

▷令和5年2月16日(木)

合同ビジネス商談会開催

広島県信用組合や株式会社商工組合中央金庫と合同し対面形式の「合同ビジネス商談会」を開催いたしました。この商談会は、日本全国と海外に販路を持つバイヤーとの商談を通じて、地域事業者の販路拡大へ繋げる支援を行うためのものです。



◁令和5年3月8日(水)

健康経営優良法人2023 (中小規模法人部門)認定

令和4年に続き、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」により、「中小規模法人部門」における「健康経営優良法人2023」の認定を受けました。



地域貢献活動

▷令和4年6月21日(火)、8月8日(月)、12月14日(水)

出張授業「金融・経済教室」の開催

高等学校の金融教育を支援する目的で野村ホールディングス株式会社や野村證券株式会社と連携し、庄原市および三次市内の高校3校にて出張授業「金融・経済教室」を開催いたしました。



▷令和4年10月7日(金)、令和5年2月16日(木)

特殊詐欺被害防止表彰

特殊詐欺を未然に防いだとして、庄原警察署から令和4年10月7日に本店営業部、令和5年2月16日に比和支店へ感謝状が贈られました。



▷令和4年9月5日(月)

フードバンクへの食料品贈呈

飲料水や乾パンを庄原市社会福祉協議会のフードバンクへ贈呈いたしました。



◁令和5年3月30日(木)

庄原市民会館への記念品贈呈

令和5年4月1日庄原市民会館リニューアルオープンにあたりデジタルサイネージ一式を贈呈いたしました。

第75期 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	1,810	預 金 積 金	100,503
預 け 金	17,688	当 座 預 金	996
買 入 金 銭 債 権	505	普 通 預 金	46,407
有 価 証 券	47,193	貯 蓄 預 金	45
国 債	10,955	通 知 預 金	21
地 方 債	6,473	定 期 預 金	49,569
社 債	15,124	定 期 積 金	2,145
株 式	478	そ の 他 の 預 金	1,317
そ の 他 の 証 券	14,160	借 用 金	35
貸 出 金	38,743	借 入 金	35
割 引 手 形	193	そ の 他 負 債	131
手 形 貸 付	759	未 決 済 為 替 借 用	16
証 書 貸 付	36,664	未 払 費 用	21
当 座 貸 越	1,125	給 付 補 填 備 金	1
そ の 他 資 産	745	未 払 法 人 税 等	56
未 決 済 為 替 貸	8	前 受 取 益	3
信 金 中 金 出 資 金	439	払 戻 未 済 金	4
未 収 収 益	120	払 戻 未 済 持 分	0
そ の 他 の 資 産	176	払 戻 未 済 持 分	0
有 形 固 定 資 産	828	職 員 預 り 金 務	8
建 物	362	リ ー ス 債 務	13
土 地	359	そ の 他 の 負 債	5
リ ー ス 資 産	13	賞 与 引 当 金	40
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	92	退 職 給 付 引 当 金	266
無 形 固 定 資 産	7	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	38
ソ フ ト ウ ェ ア	6	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	0	偶 発 損 失 引 当 金	7
繰 延 税 金 資 産	350	債 務 保 証	414
債 務 保 証 見 返	414	負 債 の 部 合 計	101,438
貸 倒 引 当 金	△502	(純資産の部)	
(うち個別貸倒引当金)	(△436)	出 資 金	314
		普 通 出 資 金	314
		利 益 剰 余 金	6,566
		利 益 準 備 金	332
		そ の 他 利 益 剰 余 金	6,233
		特 別 積 立 金	6,100
		(うち経営強化積立金)	(170)
		当 期 未 処 分 剰 余 金	133
		処 分 未 済 持 分	△0
		会 員 勤 定 合 計	6,880
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△535
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△535
		純 資 産 の 部 合 計	6,345
資 産 の 部 合 計	107,784	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	107,784

注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第75期 損益計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	金 額
経 常 収 益		1,567,651
資 金 運 用 収 益	1,464,994	
貸 出 金 利 息	586,851	
預 け 金 利 息	18,339	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	842,188	
そ の 他 の 受 入 利 息	17,615	
役 務 取 引 等 収 益	89,782	
受 入 為 替 手 数 料	40,695	
そ の 他 の 役 務 収 益	49,087	
そ の 他 業 務 収 益	9,298	
国 債 等 債 券 償 還 益	1,360	
そ の 他 の 業 務 収 益	7,938	
そ の 他 経 常 収 益	3,576	
そ の 他 の 経 常 収 益	3,576	
経 常 費 用		1,312,808
資 金 調 達 費 用	14,882	
預 金 利 息	13,382	
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	752	
借 用 金 利 息	698	
そ の 他 の 支 払 利 息	48	
役 務 取 引 等 費 用	86,747	
支 払 為 替 手 数 料	12,470	
そ の 他 の 役 務 費 用	74,276	
そ の 他 業 務 費 用	82,596	
国 債 等 債 券 償 還 損	105	
国 債 等 債 券 償 却 用	29,989	
そ の 他 の 業 務 費 用	52,500	
経 常 費 用	912,639	
人 件 費	581,687	
物 件 費	301,967	
税	28,984	
そ の 他 経 常 費 用	215,943	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	206,522	
そ の 他 の 経 常 費 用	9,420	
経 常 利 益		254,843
特 別 損 失		323
固 定 資 産 処 分 損	323	
税 引 前 当 期 純 利 益		254,520
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	159,292	
法 人 税 等 調 整 額	△20,441	
法 人 税 等 合 計		138,851
当 期 純 利 益		115,668
繰 越 金 (当 期 首 残 高)		18,139
当 期 未 処 分 剰 余 金		133,807

注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 出資1口当たり当期純利益金額 18円40銭

3. 当事業年度における顧客との契約から生じる収益は、86,591千円であります。

第75期 剰余金処分

第75期 (令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	133,807,738

これを次のとおり処分いたします。



剰 余 金 処 分 額		112,446,203
普通出資に対する配当金	(年4.0%)	12,446,203
特 別 積 立 金		100,000,000
(うち経営強化積立金)		(30,000,000)
繰越金(当期末残高)		21,361,535

令和5年6月1日現在

理事長 (代表理事)	小林 明 宗	理事	古 永 雅 則
常務理事 (代表理事)	畠 山 一 之	理事	奥 井 智 裕
常務理事 (代表理事)	田 邊 篤 博	理事	西 田 英 司
常勤理事	大 田 幸 弘	常勤監事	井 澤 一 憲
常勤理事	伏 谷 康 則	監 事	松 園 真
		監 事	光 井 俊 明

(注) 監事 光井俊明は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

令和4年度における貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書(以下、「財務諸表」という。)並びに財務諸表作成に係る内部監査等について適正性・有効性等を確認しております。

令和5年6月19日

広島みどり信用金庫

理事長 小林 明 宗

第75期 通常総代会報告並びに決議事項の報告

令和5年6月16日に開催しました第75期通常総代会において下記の事項を報告並びに付議し、各議案とも原案どおり承認可決されました。

記

● 報告事項

令和4年度(第75期)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

● 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認に関する件
- 第2号議案 会員の除名に関する件
- 第3号議案 理事の任期満了に伴う選任の件
- 第4号議案 監事の欠員に伴う補欠選任の件
- 第5号議案 退任理事及び退任監事に対する退職慰労金贈呈の件

以上



みどりしんきんからのお知らせ

しんきん通帳アプリ

いつでも どこでも、
入出金明細や残高を
スマホで確認！

最大10年間の
入出金明細が
月別表示！

利用手数料 → 無料！
朝晩入庫 → 利息不課！

くわしくは、QRコードより「通帳アプリ」の専用ページへ 広島みどり信用金庫

あなたのスマートフォンが
通帳に。
いつでも、どこでも、
預金残高と入出金明細が
確認でき
とっても便利です！



インスタグラム

公式アカウント

地域の魅力や
イベントの情報を
発信しています

MIDORISHINKIN

採用アカウント

採用情報や
みどり信金の魅力等
就活に役立つ情報を
発信しています

MIDORI.SHINKIN_RECRUIT

皆様からのいいね！やフォローもお待ちしております！

店舗のご案内

本店	営業部	庄原市西本町三丁目1番8号	☎0824-72-1151
比和	支店	庄原市比和町比和777番地1	☎0824-85-2011
西城	支店	庄原市西城町西城180番地1	☎0824-82-2300
高野	支店	庄原市高野町新市1120番地3	☎0824-86-3037
東城	支店	庄原市東城町川東1175番地	☎08477-3-0026
三次	支店	三次市三次町1539番地の9	☎0824-63-5231
十日市	支店	三次市十日市中二丁目4番20号	☎0824-63-5234
三良坂	支店	三次市三良坂町三良坂5048番地4	☎0824-44-2227
畠敷	支店	三次市畠敷町894番地の4	☎0824-63-5236



いつでもどこでもハートフル
広島みどり信用金庫